

科目名	足底板製作Ⅱ			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	整形靴科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 疾患へのアプローチとしての足底板の機能性を学び、その製作方法を実践的に習得することを目的とする。1年次の足底板の構造、各部の機能への理解を元に、スポーツ用やリウマチなどの疾患に適した足底板の製作を目的とする。また、足底板製作に必要な機会のメンテナンスや、オーテーゼについても学び、周辺知識を習得する。								
〔授業全体の内容の概要〕 1日にいくつかの製作課題を与え、それを完成させる。まず講師が製作方法等について講義をし、その後製作のデモンストレーションをした後、学生は時間内にその課題を完成に向けて製作していく。製作途中、または完成後に講師がチェック・評価を行う。本実習の製作課題は、スポーツ用→リウマチ用→カスタムメイド足底板の順に行う。								
〔講師の実務経験〕 株式会社ottoボックジャパンに勤務、整形靴・足底装具を含む義肢装具全般のショップの立ち上げやメーカー営業を担当。健康靴専門店のザニーツハウスPOSCに勤務。主に、医療用の整形靴を含むオーダーメイド靴の木型製作と、医療用の足底装具を含むオーダーメイドインソール製作を担当し、足のカウンセリング・計測から既製靴のシューフィッティング、健康靴・インソールの調整・加工、靴修理業務にも従事。特にシューフィッティング、足底装具の知識・製作技術に精通している。								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 ①スポーツ用などの実践的な足底板の製作ができる ②足・靴に合わせてカスタムメイドの足底板を製作できる ③リウマチなどの疾患の状況に合わせた材料を選択し、足底板の製作ができる								
回数	講義内容							
1	スポーツ用インサートの概要（理論）							
2	スポーツ用インサートの採型							
3	スポーツ用インサートの採型							
4	スポーツ用インサートの製作							
5	スポーツ用インサートの製作							
6	スポーツ用インサートの製作							
7	スポーツ用インサートの製作							
8	スポーツ用インサートの製作							
9	スポーツ用インサートの適合と調整							
10	スポーツ用インサートの適合と調整							
11	除圧 ヒールカップ・趾はさみ・足部サポート							
12	除圧 ヒールカップ・趾はさみ・足部サポート							
13	除圧 ヒールカップ・趾はさみ・足部サポート							
14	カスタムメイド足底板の製作							
15	カスタムメイド足底板の製作							
16	カスタムメイド足底板の製作							
17	カスタムメイド足底板の製作							
18	カスタムメイド足底板の製作							
19	リウマチ用インサートの製作							
20	リウマチ用インサートの製作							
21	リウマチ用インサートの製作							
22	リウマチ用インサートの製作							
23	リウマチ用インサートの製作							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
なし								
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
実習中の製作物の100点満点で評価する								